

## ”箕高カフェ in 矢櫃 2021”を開催しました！

～あったかいカフェで、ほっこり・・・～

12月18日(土)、早朝から強い北風が吹き、海を挟んで対岸に見える山並みは、今年初めてうっすらと雪化粧している寒さの中、情報経営科：商品開発販売班主催の「箕高カフェ」を開催しました。昨年はコロナ禍の影響でやむなく中止となってしまう、2年ぶりの”カフェオープン”です。会場は、別名「有田のエーゲ海」と呼ばれる有田市宮崎町矢櫃地区にある、有田市移住交流拠点施設「くらしちやる矢櫃」。今回のカフェ開催には、くらしちやる矢櫃運営協議会とカフェMAKENA（絶景カフェ：マキーナ）さんに協力をいただきました。

今回のメニューは、くらしちやる矢櫃名物の石窯を使って焼く「焼きたてピザ」・箕高生考案の「みかんパフェ」・MAKENAさん提供の「柑橘ソーダ」そして「コーヒー」・「ココア」です。開店（10:00）と同時に早速のお客様。生徒たちの「こんにちは！いらっしゃいませ！」の明るい声がホールに響きます。矢櫃地区名物の坂道を上り下りして、次から次へとお客様が来店。10:30には満席となる盛況ぶりです。建物玄関の前にある手作りの石窯の前では、吹きすさぶ寒風を気にもせず、担当の2名が休む暇も無くピザを焼き続けます。火加減に注意して薪を加えながら、約2分で1枚を焼き上げていきます。ホール内では、パフェ担当、ドリンク担当、ホール担当が手際よくも忙しく動き回ります。

寒さのためか準備したピザ生地60枚は、2時間で完売。暖かい飲み物とみかんパフェも盛況でした。4時間の開店中、計80名のお客様にご来店いただきました。商品開発販売班の9名の女子生徒は、疲れた様子も見せず、てきぱきと自分の仕事をこなし、明るく接客にも当たることができました。

感染対策に留意しながらのカフェ開催でした。来年は、何もコロナウイルスを気に掛けることなく、また、ここ矢櫃でカフェを開きたいものです。

ご来店いただいた皆さま。本当にありがとうございました。また来年、よろしく、お願いいたします。（商品開発販売班一同）



（商品開発販売班の皆さんです。）



（ピザ生地にトッピング中です。）



（カフェ内は大盛況でした。）



